

県北地区フォーラム

共 催：能代市教育委員会

開催日：平成24年11月17日(土)

会 場：能代市文化会館大ホール

講演 「気仙沼市立階上中学校における防災教育への取り組み」



気仙沼市立階上中学校
校長 小野寺隆成 氏

「知る」(知識の見直し)「備える」「行動する」(訓練の見直し)を視点とした実効性のある学習を組み直した。地域との連携で共助体制をつくり活動を継続。

- 1 平成17年から震災までの取組
 - ・合言葉「私たちは未来の防災戦士・年間35時間
- 2 東日本大震災の被害状況と避難所となった学校
- 3 震災への意識と反省から防災学習の見直しへ
 - ・階上が市内で一番の死者率・防災意識が不十分
 - ・地域連携の重要性・「風化」の雰囲気の広がり
- 4 平成23年度取組(自助)
 - ・自分の命は自分で守る
 - ・災害時に必要な行動
 - ・中学生として今できること
- 5 平成24年度取組(自助・共助)

被災地視察報告



能代市立第四小学校
教諭 越前 芳広 氏

地域との連携は役割を整理することが大切。学校は開放場所準備・誘導等、地域は運営等。学校はできる支援を行いながら学校再開に向けての準備をする。災害前に、地域の人と災害時の対応を考えておく。

- 1 釜石市立市山小学校の視察から
 - ・「つなみてんでこ」
 - ・発災時の対処
- 2 気仙沼市教育委員会の視察から
 - ・ESDを平成14年から
- 3 気仙沼市立鹿折小学校の視察から
 - ・津波警報発令中は保護者も避難
- 4 能代市と能代市第四小学校の防災教育
 - ・引き渡し訓練
 - ・DIG
 - ・メールシステム

パネルディスカッション

「学校における防災教育と地域連携の在り方」



コーディネーター 秋田大学地域創生センター
准教授 水田 敏彦 氏



日本海中部地震から30年になるが記憶を風化させてはいけない。例えば学校では保護者会や運動会等の機会に、地域のお年寄りならば公民館で将棋、カラオケ等、意識をしていなくても日常の取組が防災につながっていければいい。

パネラー 能代市立能代第一中学校
校長 竹内 秀樹 氏



地域の実態に応じ、学区内小・中9年間を見通した年間指導計画の作成。児童生徒に力をつける避難訓

- ・「防災教育モデル校」としての主な取組
- ・校長会アンケートから
- ・能代山本地区の学校での今後の取り組み

パネラー 大館市立西館小学校
PTA会長 佐々木晃吉 氏



- ・保護者として心がけていること
- ・学校や地域との連携について

保護者や保育園・地域を巻き込んだ避難訓練の実施を。PTAとしては避難所としての対応が課題。

パネラー 北秋田市鷹巣地区高野尻自治会
会長 照内 捷二 氏



- ・地区の取組について
研修会開催
アンケート実施
学校や他地区との連携
- ・地区の課題について

アンケートで実態把握をし自治会研修会を始め防災への取組を充実させてきた。今の地区の課題は、若い世代の発想を生かせるよう連携を深めていくこと。

パネラー 能代消防署
当直指令 佐藤 崇宏 氏



- ・地域連携充実を図る消防署の役割・取組
- ・地域連携の課題
- ・それぞれの立場の方へ望むこと

よい取組を紹介できる体制づくりを。先生方には現有の制度を利用し防災リーダーに。被災者等の体験を聞く機会を。地域の把握・避難所運営体制の確認・着衣泳の実施等震災への備えを。